

## 第 14 回 リハビリここら day 運営推進会議 資料

日時： 令和 8 年 2 月 19 日 (木)

場所： リハビリここら day

### 1. はじめに

平素より、当事業所の運営にご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

本日は、令和 7 年 8 月から令和 8 年 1 月までの活動実績および運営状況についてご報告させていただきます。この半年間は、利用者の重度化対応や、昨年 10 月より導入いたしました新キャンセル規定の運用など、事業所として新たなフェーズへの移行期間となりました。皆様からの忌憚のないご意見を賜り、今後のサービス向上に活かしてまいりたいと存じます。

### 2. 利用者状況報告 (2025/8/1 ~ 2026/1/31)

#### (1) 全体動向

- 利用総数の推移：

8 月は猛暑やお盆の影響もあり利用総数が 497 名と落ち込みましたが、9 月以降は回復し、10 月 (622 名)・12 月 (622 名) にピークを迎えました。1 月は寒波の影響等や要介護者の入院が続き 544 名となりましたが、期間を通じて安定した稼働を維持しています。

- 利用者層の変化 (介護・予防の逆転傾向)：

上期 (2 月～7 月) と比較し、「要支援 (予防)」の利用が減少し、「要介護」の利用が増加傾向にあります。特に 12 月以降、収入面でも介護給付が予防給付を上回る結果となりました。これは、既存利用者の区分変更 (重度化) や、新規の要介護利用者の受け入れが進んだことによるものと推察されます。

#### (2) 利用実績詳細

[利用者動向内訳] 利用定員 18 名/2 単位

月	要支援サービス 延べ人数	要介護サービス 延べ人数	合計(延べ人数)	稼働 日数	1 単位 平均
8 月	304	193	497	18	13.8
9 月	349	251	600	22	13.6
10 月	350	272	622	22	14.1
11 月	306	264	570	20	14.3
12 月	303	319	622	22	14.1
1 月	263	281	544	20	13.6

### (3) 介護度別利用動向の分析

- **要支援（予防）**：10月の延利用者数350名をピークに減少傾向に転じ、1月には263名となりました。特に「要支援2」の登録者・利用者が減少傾向にあります。
- **要介護**：8月の延利用者数193名から12月には319名へと大幅に増加しました。「要介護1」「要介護2」の方の利用が中心ですが、安定して高い利用率を維持しています。

### 3. 活動報告（2025年8月～2026年1月）

- **9月：敬老の日**

例年交流のある「こまつしま健祥会認定こども園」との交流会を予定しておりましたが、インフルエンザ感染症の流行状況を鑑み、利用者様と園児たちの安全を最優先として、今回は延期（中止）といたしました。事業所内で、皆様のご健康を祈念いたしました。

- **9月～11月：屋外歩行・買い物訓練（IADL訓練）**

気候の良い時期を活用し、近隣商業施設（ハローズ、しまむら、コーナン等）への買い物外出を実施しました。

参加人数は限定的ではありましたが、馴染みの職員や利用者様同士での外出を楽しまれ、何より「自分の目で見て、欲しいものを選ぶ」という行為が、皆様の意欲向上や良い気分転換につながりました。

- **10月：ハロウィン交流会**

9月に延期となっていた園児たちとの交流が実現しました。ハロウィンの仮装をした園児たちが来所し、歌や踊りを披露してくれました。その愛らしい姿に、感動のあまり涙を流して喜ばれる利用者様もいらっしやり、世代間交流がもたらす心の癒やしと活力の大きさを改めて実感する機会となりました。

- **12月：クリスマスの環境演出**



大規模なイベント形式のクリスマス会は控えましたが、事業所内にクリスマスツリーなどの飾り付けを行い、BGMにはクリスマスソングを採用するなど、五感で季節の訪れを感じていただける環境づくりを行いました。

- **12月～1月：冬季の屋外活動について**

12月以降の寒さが厳しい時期につきましては、寒暖差によるヒートショック等の健康リスクや、インフルエンザ等の感染症対策を考慮し、屋外での買い物訓練等は一時休止としております。

#### 4. 運営上の取り組みと今後の課題

##### (1) キャンセル規定改定後の運用状況について

令和7年10月1日より施行いたしました「新キャンセル規定」につきまして、施行後4ヶ月間の運用実績をご報告いたします。

##### 【改定内容の振り返り】

**旧基準（～9月）：** サービス開始1時間前までは無料、1時間以内は400円。

**新基準（10月～）：**

- 当日キャンセル：800円（ただし、月1回目は無料）
- 無断キャンセル：1,500円
- 免除規定： 急な体調不良により医療機関を受診した場合は無料

**【運用実績と効果検証】** 規定改定前後の4ヶ月間における「キャンセル料発生件数」を比較しました。

- 改定前（6月～9月）：23件
- 改定後（10月～1月）：13件

**【分析・評価】** キャンセル料発生件数は、改定前と比較して約**43%減少**しました。

金額の引き上げを行いました。同時に「月1回目の無料枠」や「受診時の免除」といったセーフティネットを設けたことで、利用者様にご理解いただきやすかったものと考えられます。結果として、安易な当日キャンセルが抑制され、利用枠の有効活用と稼働率の安定化につながっております。今後も、利用者様の事情に配慮しつつ、公平なルール運用を継続してまいります。

##### (2) 通所型サービス（独自／定率）の休止について

当事業所では、令和8年2月1日をもちまして、通所型サービス（独自／定率）の提供を休止することといたしました。その経緯と理由は以下の通りです。

当事業所における通所型サービス（独自／定率）につきましては、他サービスと共有のスペースで同時に提供しているものの、本サービス利用者のために専従的な人員配置を行う必要があり、今後の運営上、安定的かつ継続的に必要人員を確保することが困難であると判断いたしました。

加えて、サービス開始以降の利用実績は散発的かつ少数にとどまっており、当該サービスのためだけに新たな人員を雇用・配置することは経営上も現実的ではない状況です。

一方で、現行相当サービスおよび地域密着型通所介護の利用希望者数が増加しており、これらの利用者に対して十分な支援体制を確保することを優先すべきと考え、限られた人員資源をそちらへ重点的に配分する経営判断を行った結果、当該通所型サービスを休止することといたしました。

### (3) 今後の取り組み方針

上記の「キャンセル規定の適正運用」および「サービス種別の選択と集中」を踏まえ、今後は以下の点に注力してまいります。

- **中重度化への対応強化：** データからも読み取れる通り、要介護者の比率が高まっています。リハビリ特化型としての機能を維持しつつ、要介護1～2の方への身体機能維持・向上プログラムの充実を図ります。また、医療ニーズのある方への対応についても、看護職員との連携を強化してまいります。
- **新規利用者の受け入れ体制：** 要支援者の減少分を補う形での新規獲得、および卒業（改善）による入れ替わりのサイクルを意識し、地域包括支援センターや居宅介護支援事業所への広報活動を継続します。

## 5. 質疑応答